

Eric Artz

ピアニスト エリック・アーツ 1983年5月24日生まれ。7歳よりピアノを始める。

13歳、オリビエ・ゴードン氏より師事を受けパリ国立地方学院を満場一致にて首席で卒業。翌年14歳にて、パリ国立高等音楽院に進み、ピアノ科・ニコラ・アンゲリッチ、ロジェ・ムラロ、室内音楽科・クリスチャン・イバルディ、マーク・コペイ各氏に師事を受ける。ピアノ科修士修得後同学院,第3高等課程へと進み修了。

ブルーノ・リグット、ジャン＝クロード・プルニエ、レナ・シェルシェブリツカヤ、各氏に師事を受け、ムスティスラブ・ロストロボヴィッチ・アルド・チッコリーニ、ジャック・ルビエ各氏によるマスタークラスを、幾度にも渡り受講。

ジュネーブ、エピネル、バルセローナ(マリアカラス)等、20に及ぶ国内・国際コンクールの受賞者であり、Natexis 財団ローレア、Criffra et Meyer 財団奨励生として迎えられた。

幼少のころから、ソリストとしてラジオ・フランスにてガルド・リパブリカン管弦楽団、ナント市、パレ・デ・コングレにて、ロワール地方国立管弦楽団、プラハ室内楽団など共演を重ねている。

国内外でも幅広く演奏活動も繰り広げており、オーストリア(ザルツブルグ)、イタリア(ローマ,カグリアリ)、スイス(ジュネーブ・ショパンフェスティバル)、(ラジオ・スイスロマン)イギリス(ロンドン・スタインウェイホール)、ドイツ、日本をはじめ、パリ、シャンゼリゼ劇場、フェスティバル・ラジオ・フランス、クローム・ド・モンペリエ、ノアン市ベルリンフィルハーモニー四重奏メンバーとのショパンフェスティバル共演、パリ・ブローニュの森、バガテルショパンフェスティバル、オルセー美術館、コルトーホールそしてシャトールーのリストマニア、グアダループ等に至る。

2010年はショパン生誕200年、《Bon Anniversaire Monsieur Chopin》と、題されたコンサートシリーズがパリ、パリ近郊にて開催され、一人の若き演奏家の代表として演奏を任された。2010年―2011年シーズンも、数々のコンサート出演を控え、初公演としてこの11月、ハイファ、テルアビブ及びジュルザレム(イスラエル)にて4日間にわたり行われ、コンサートは完売にて終了している。2011年はリスト生誕200年、1月、ドンティエール財団にて、プログラム全曲リストにて生まれ、在住地パリのソロリサイタルから始まる。